



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和3年10月5日 第6号
小笠原村立小笠原中学校
校長 小野満 賢

学校ホームページ
<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック
<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



何があってもあなたの味方です

校長 小野満 賢



生まれてきた自分の子どもに初めて会った時、私は「何があってもこの子だけは絶対に守る」と心に誓いました。皆さんのお父さんやお母さんもきっと同じことを感じ、当然今も思い続けています。

皆さんの中には、お父さんもお母さんも私のことをちっとも分かってくれない、いちいちうるさい、放っておいてほしい、そう感じている人がいるかもしれません。でも、あなたがどう思おうと、お父さんとお母さんは、今までも、そしてこれからも、何があってもあなたの味方です。そしてあなたのことを自分の命を懸けて守る覚悟でいることは間違いありません。

だいぶ古い話で申し訳ないのですが、記憶を辿りながら自分の子どもが生まれた時のことを書こうと思います。ちょっとお付き合いください。

上の娘が生まれる時、私は中学3年生の担任をしていました。3学期に入って間もなく、出産のため妻が九州の実家に帰った時は、自炊生活となった私の身を生徒たちが心配してくれました。給食の残りが出ると、「先生、持って帰りなよ。」と声をかけてくれる生徒もいました。

妻の出産予定日はまさに都立入試の日でしたが、事前に休みを取ることを学校に伝えていたので、対応は学年の先生にお願いして、前日に妻の実家に行くことができました。飛行機と高速バスを乗り継いで半日かけて辿り着き妻と会ったのですが、いっこうに生まれる気配が無いと言います。結局妻のお腹に「無事に生まれておいでよ。」と声を掛けたのと、少し運動した方がいいだろうと近所の神社と一緒に散歩に行っただけで、出産に立ち会えないまま翌々日には東京に戻ってきました。

陣痛が始まったと聞いたのは、それからちょうど一週間経った日の朝でした。

夕方になって職場に義理の母から電話があり、10時間以上もかかって無事に娘が生まれたと聞いた時には飛び上がって喜びました。職員室の先生方も、進路の面談で残っていた生徒も保護者も喜んでくれました。家に帰ってからは一人で何度も叫び、ガッツポーズをしました。妻にも娘にも一刻も早く会いたかったのですが、その思いをエネルギーに仕事をし、週末にようやく会いに行くことができました。

白い産着（うぶぎ）にくるまれた娘は、何もかも小さくて、細くて、甘酸っぱい匂いがしました。薄目を開ける、眠る、口をもごもごする、手足を動かす、顔を真っ赤にして泣く・・・その一挙手一投足を何時間でも飽きずに眺めていることができます。この小さな命を目の前にした時、「自分の命を犠牲にしても、何があってもこの子だけは絶対に守る。」という感情が自分の中にどんどん大きく膨れ上がってきました。この子の命が助かるのなら、喜んで自分の命を差し出すという覚悟は、25年経った今でも変わりません。

これは私が特別なわけではありません。親というのはそういうものなのです。あなたのお父さんとお母さんも、きっと同じ気持ちです。あなたが生まれてきた時の話をお父さんやお母さんに聞いてみてください。きっといろいろなことがあったと思います。そして、どんなにあなたが愛おしかったかを教えてくれるでしょう。

私の育児は、妻の大変さとは比べものにならない、ほんの一部を担っただけなのですが、それでも色々なことを思い出します。むずがる娘を眠りにつくまで抱っこをしたこと、何度も何度も絵本を読んで聞かせたこと、公園に行くたびにブランコと一緒に乗ったこと、保育園から手をつないで帰ったこと、熱が出るたびに病院に連れて行ったこと、お風呂で一緒に歌ったこと、肩車をしてお祭りに行ったこと、スキーをしに車でよく出掛けたこと、プールや海で泳いだこと、補助輪なしの自転車に乗れるまで付き合ったこと、誕生日のショートケーキの苺が大好きだったこと、サンタさんからのプレゼントを見つけて大喜びしていたこと・・・等々、たくさんあり過ぎて、とてもここに書ききれぬものではありません。

無邪気でかわいらしい時期はあっという間に過ぎていきました。成長とともに会話も少なくなり、娘も家族でいるより、外に出掛けたり、部屋にこもったりする時間が長くなりました。私もうるさい、うっとうしいと

思われていたのかもしれませんが。中高生の頃には衝突することも何度もありました。それでも娘がそこにいるだけで幸せだったし、娘の笑顔に心が癒され、苦しいことも辛いことも乗り越えられてきました。あなたのお父さんやお母さんも、面と向かっては言わないかもしれませんが、きっとそう思っています。あなたの存在そのものが、お父さんやお母さんの生きていくエネルギーの源（みなもと）になっていることは間違いありません。

逆に、あなたが悩んでいた、落ち込んでいたりする時には、何とか力になってやることはできないかと思っています。あなたの苦しみの全ては分からないかもしれないけれど、話を最後まで聞いて、「大変だったね」と言ってくれるはず。あなたがお父さんやお母さんのことをどう思っているかと、それは関係ありません。お父さんとお母さんは、絶対に、何があってもあなたの味方なのです。今までも、そしてこれからも。親というのはそういうものです。

9月26日（日）に2年ぶりとなる「小中高連合運動会」が開催されました。緊急事態宣言下での短縮したプログラムでしたが、多くの保護者の皆さんにご来場賜り、子どもたちの活躍を見守っていただきました。心から感謝申し上げます。

小学1年生から高校3年生までの12年間の成長の軌跡がつぶさに分かる、この島ならではの行事です。例年だとここに未就学児の競技も加わりさらに年齢の幅が広がるのですが、多くの保護者の方がわが子の成長を実感するとともに、「あんなに小さかったなあ」とか「あんなに力強く、速くなるんだ」と、過去を振り返ったり将来の姿を想像したりすることのできる貴重な機会なのだと思います。私も反省だらけの自分の子育てを振り返りながら、児童・生徒の成長段階ごとに全力で頑張る姿に感動しました。

中学生も臨時休業明けのわずか3週間という短い期間で素晴らしいダンスを創り上げました。全体練習だけでは当然時間が足りず、昼休みや放課後を使って練習を重ねました。自主練習も相当したのでしょう。前日の最後の練習は大雨に降られ、通した練習ができませんでしたが、本番で最高のパフォーマンスを見せてくれました。皆を引っ張ってくれた3年生のリーダーを中心に、皆が笑顔で楽しそうに踊っていたのが何よりも良かったです。見ている方々にも笑顔が広がり、大きな手拍子とともに会場が一体となりました。最後の号令の後の生徒たちのやり切ったという表情を見て、こみ上げるものがありました。正面に掲げられた「波を起こせ」のパネルの制作もギリギリまで本当によく頑張りました。自分の競技や演技の間に休む間もなく入ってくる係の仕事もてきぱきとこなしていたのも素晴らしかったし、終了後の片づけの手際の良さも見事でした。

9月30日をもってようやく4回目の緊急事態宣言が解除されました。感染対策は引き続き行っていきながら、より子どもたちの意欲を喚起し、可能性を伸ばしていけるよう、工夫しながら教育活動を進めて参ります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。



小中高連合運動会を終えて

保健体育科 麻生 直人

今年度の連合運動会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年とは違って種目数を減らすなどして、内容を縮小する形で行いました。その中で、中学生が活躍した場面を一つ一つ振り返っていきたいと思います。

「開会式」

体育委員長が全員の前に立ってラジオ体操を堂々とやっている姿が印象的でした。暑い中、生徒はみんな立派な態度でした。

「短距離走」

新型コロナウイルス感染症の関係もあり、なかなか思い切り走る機会が無かった生徒たちでしたが、勝っても負けても、最後まで全力で走りきっていた姿がとても輝いていました。

「創作ダンス」

3年生実行委員の2人を中心に、夏休み中から動き出して作り上げていったダンス。今年は準備期間も少ない中で、生徒たちは前向きに一生懸命取り組みました。実行委員の2人の頑張り、生徒たちの協力により、本番は見事に見応えのあるダンスを披露し、会場から大きな拍手や歓声が飛び交いました。

「台風の日」

今年の中学生の団体種目は、感染症対策のために例年やっている「大ムカデ」ではなく、「台風の日」を行いました。中学生としては初めての種目でしたが、皆楽しそうにやっていました。また中学生ともなるとスピードもパワーもあり、旋回するところは見応えもありました。

「紅白リレー」

中学3年生が中心となって決めた走順により、全学年混合でリレーを行いました。最後まで勝負の行方が分からない白熱したリレーになりました。応援しながら全員が勝利のためにひたむきに走っている姿が印象に残りました。

「閉会式」

今年の運動会では、紅組が優勝しました。結果の発表に喜んでる児童・生徒の姿を見て、今回の運動会を実施できて本当に良かったと改めて思いました。

様々な不安材料がある中で、たくさんの方々のご理解とご協力をいただいてなんとか開催できたことに、そして生徒が活躍する場を与えていただいたことに、改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



生徒会役員選挙・立会演説会

生活指導部生徒会担当 山浦 康志



今年度の生徒会役員選挙は、ここ数年で一番の盛り上がりを見せる選挙となりました。その原動力になったのは、選挙に立候補した6名の生徒たちです。生徒会長(定員1名)に2名、副会長(定員1名)に1名、書記(定員2名)に3名の立候補となったため、ポスターや挨拶運動、演説等、それぞれが工夫を凝らした選挙活動を展開してくれました。

最後まで悩みながら真剣に演説を聞いていました。立候補者も一般生徒も一体となって新しい生徒会を真剣に考える、とても良い雰囲気でした。

新役員に当選した人は演説での自分の言葉に責任をもち、より良い学校を作っていくための行動に期待しています。残念ながら落選してしまった人は、委員会やクラスの中で力を発揮して、より良い学校の実現を目指していってくれることに期待しています。



生徒会 新役員会 発足

生徒会役員選挙及び立会演説会により、これから1年間にわたって小笠原中学校生徒会の中心となって生徒会活動を推進する4名の新役員会が発足しました。3年生からバトンを引き継ぎ、今の気持ちを大切にして、頑張っていってほしいと思います。



ゲストティーチャー授業「南極のお話」

理科担当 高橋 郁美

9月8日(水)に、海上自衛隊父島基地分遣隊の奥村武士隊長にお越しいただき、南極地域観測事業についてのお話をいただきました。奥村隊長はこれまでに2度この事業に海上自衛隊として参加したそうです。実際に乗った船「しらせ」や南極での調査について、丁寧に教えていただきました。そして、本物の南極の氷をプレゼントしてくださいました。実物を見て実物に触れる本当に貴重な体験でした。この氷には数万年前の空気が閉じ込められているということでした。



教育実習を終えて

美術科 教育実習生 井上 あかり

この度、小笠原中学校で3週間教育実習をさせていただいた井上あかりです。コロナ禍で大変な時期に実習を受け入れてくださった小野満校長先生をはじめとした多くの方々に感謝しています。

実習では主に2年生を担当させていただきました。念には念を入れて約1か月自粛している間、どのような生徒たちなのだろうと想像を膨らませました。実際に対面してまず初めに感じたことは「笑顔が眩しいということ」です。生徒たちの眩しく澄んだ笑顔は私が大人になるにあたって薄れていただろう純粋さや素直さを思い出させてくれました。3週間共に過ごした後もその印象は消えません。「素直で小笠原の海のように澄んだ心」を大人になってからも、もち続けていってほしいです。

これからの未来をつくっていく子どもたちを私たち大人が支え、導き、見守っていかねばならないという思いを強く抱いた教育実習。毎日宝物のような日々でした。貴重な経験をありがとうございます。

保健体育科 教育実習生 渋谷 優太

「小笠原に教育実習に行く。」これは大学で教職課程を履修するときから決意していたことでした。私はこの島出身で、小笠原のことが大好きです。ですから、実習生として行くことで何か島の子どもたちに伝えられることがあるのではないかと、思っていました。しかし、いざ行ってみると教わることばかり。今の島っ子たちは私のいた頃よりもずいぶんと大人に感じられました。私が授業をさせていただいた際には、積極的に授業を盛り上げてくれたり、きちんと目を見て私の拙い話を聞いてくれたりしました。そんな立派な中学生たちがこれから成長して小笠原を背負って立つことを想像すると、ワクワクします。これから先、彼らの内地で活躍する姿や、島に帰ってきて小笠原をよりよくしていこうとする姿を、一人の島っ子の先輩として見守っていただけるととても幸せだと思います。内地に来た際にはまたお会いしましょう！今回の実習に携わっていただいた皆様、本当にありがとうございました！



10月の行事予定

- 1日 (金) 都民の日 安全指導 教育実習終
- 4日 (月) 生徒会朝礼 島しょ研修会
役員会・各種・中央委員会
- 5日 (火) 食育講話 中央委員会
- 6日 (水) 都英語スピーキングテスト 避難訓練
芝生の日 2年夢の教室 職員会議
- 7日 (木) S C勤務 島しょ研修会 中央委員会
3年修学旅行始 見送り式
- 9日 (土) 英語検定 (一次)
- 13日 (水) 中央委員会
- 16日 (土) P T Aブイ・フロート撤去
3年修学旅行終
- 18日 (月) 3年振替休業日
役員会・各種委員会
- 19日 (火) お弁当の日 中央委員会

- 20日 (水) 芝生の日 小中連携の日
- 21日 (木) S C勤務 小中高教科交流会
小中高連合運動会合同職員会議
- 22日 (金) 保護者会
- 23日 (土) 漢字検定
- 25日 (月) 学校公開始 3年三者面談始
- 27日 (水) 校内研修
- 28日 (木) S C勤務 生徒会総会リハーサル
- 29日 (金) 生徒会総会
役員会・各種・中央委員会
- 30日 (土) 土曜授業日 学校公開終
1年働く人の話を聞く会
第2回進路説明会
- 31日 (日) 数学検定